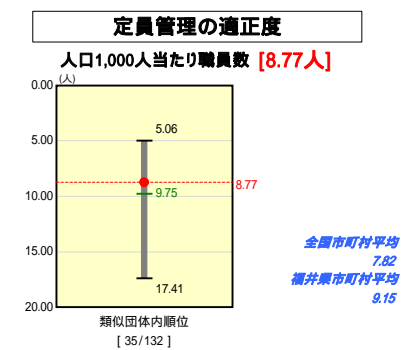
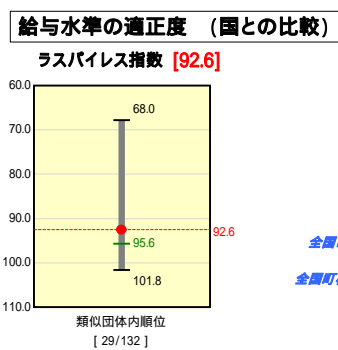
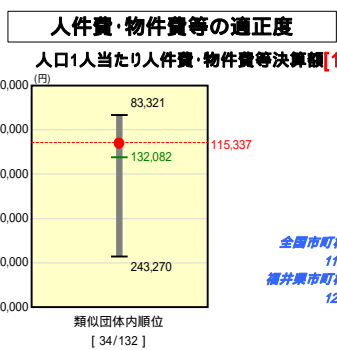
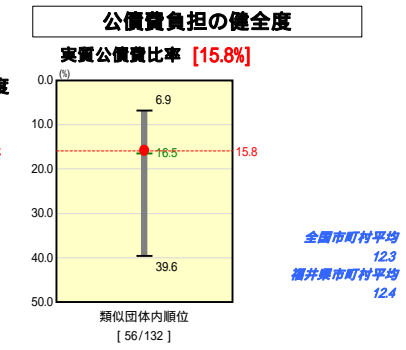
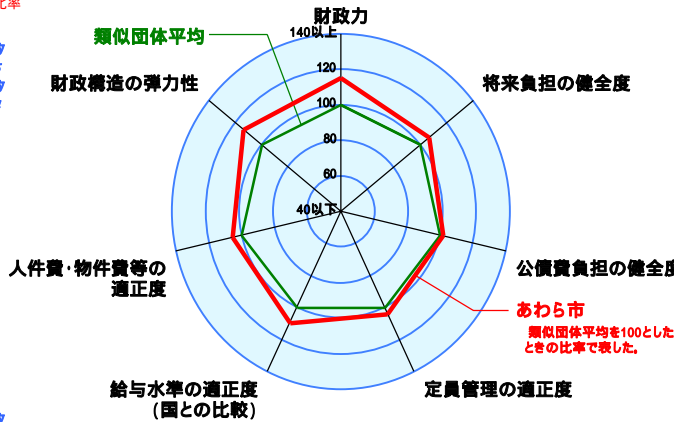
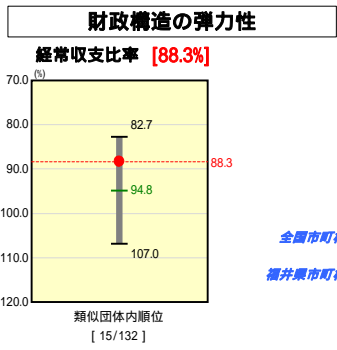
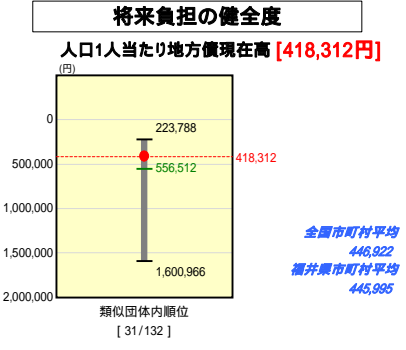
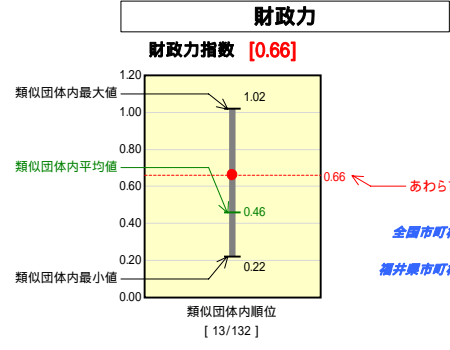


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 あわら市

人口	31,006	人(H20.3.31現在)
面積	116.99	km ²
歳入総額	11,939,646	千円
歳出総額	11,565,305	千円
実質収支	358,486	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

平成16年3月1日に、旧芦原町と旧金津町の合併により、あわら市となった。

財政力指数
平成16年3月の市町村合併により財政基盤の強化が図られるとともに、法人市民税の好調な伸びにより類似団体の平均を大きく上回る結果となっている。しかしながら、今後の不透明な景気の先行きにより税収の伸びは期待できず、今後も徴収率の向上を図り、税収の確保に努める。

経常収支比率
合併後の職員の新規採用凍結、物件費の抑制等により類似団体の平均を大きく下回る結果となっている。しかしながら、生活保護費を始めとする扶助費の増加により前年度より5.5ポイント上昇している。今後も行財政改革を推進し、経常経費の抑制に努める。

ラスパイレス指数
合併前の旧町時代より給与の適正化に努めているため、類似団体の平均を下回っており、今後とも給与の適正化に努める。人口1人当たりの地方債現在高
過去に実施した大型事業の地方債の順次償還に伴い前年度と比較し金額は減少しており、類似団体の平均も下回っている。今後とも安易な地方債の充当を抑制し、地方債充当事業の取捨選択に努める。

実質公債費比率
交付税措置の有利な合併特例債の活用、公営企業会計繰出金の抑制等により、前年度より1ポイント低下し、類似団体の平均をやや下回る結果となった。今後、小・中学校耐震改修事業、新幹線関連整備事業等といった大型プロジェクトを投入しているため、事業費の圧縮による新規の地方債発行額の抑制と公営企業会計の健全な経営を図ることによる繰出金の更なる抑制等に努める。

人口1,000人あたりの職員数
平成16年3月の合併以降、4年間職員の採用を凍結したことにより、集中改革プランで示された目標値(平成22年度当初までの5年間で職員数を15%以上削減)について前倒しで達成しており、また類似団体の平均も下回っている。今後の職員採用については、適正管理に努め、慎重に実施する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
前年度と比較して微減となっており、また類似団体の平均も下回っている。これらの理由としては、ごみ処理業務、消防業務、介護保険業務等の一部事務組合や広域連合で行っていることや、保育所等児童福祉施設の民営化推進が挙げられる。今後とも指定制度管理の活用を図り、現行水準の維持に努める。